令和２年度高齢者権利擁護等推進員養成研修会　事前課題

介護老人福祉施設における事例

１　施設概要：入所者60名　2フロアに4ユニット　短期入所を併設

２　Aさんの概要

　　90歳　女性　元教員

　　病歴：脳梗塞　右片麻痺　失語症

　　状態：発声はあるが、内容不明。スタッフからの説明に発語はないが、うなづきあり。食事は準備のみ介助、車椅子の移乗は半介助、日中は車椅子で過ごす。車椅子から立ち上がり転倒したことがある。尿便意あり、トイレで排泄する（時々、尿・便の失禁あり）。立ち上がりは柵をつかまり、介助でトイレに座る。

　家族：長女が毎日、面会に来る。

３　経過

　　　2週間前に就職した女性職員Bさん(21歳)は、初めてAさんの担当になった。他の

入所者を介助中のBさんは、11時頃、デイルームにいるAさんを見ると、「うー。う

ー。」と声をだしながら、車椅子から立ち上がろうとしているのに気づいた。Bさんは、

「立っちゃだめ。ちょっと待ってて！」と大きな声で言い、側に行き、「一人で立った

らだめって、いつも、言われてるでしょ！」と一方的に話した。Aさんは、悲しそうな

顔をして、うつむいた。

４　討議内容

　１）Aさんの状況や思いを考えてください。

　２）スタッフBさんの状況や思いを考えてください。

　３）Bさんの望ましい対応を考えてください。

　４）課題に対する施設としての対応策を考えてください。

**※　１）～４）の項目について、別紙に記載してください。**

**※　別紙の原本は手元に残し、８月２７日(木)の研修受付に別紙のコピー２部を提出。**

**４　討議内容**

**１）Aさんの状況や思いを考えてください。**

**２）スタッフBさんの状況や思いを考えてください。**

**３）Bさんの望ましい対応を考えてください。**

**４）課題に対する施設としての対応策を考えてください。**